（東証グロース：4381）

ビープラッツ株式会社

2027年3月期　第2四半期決算説明資料

2026年11月12日

Bplats, Inc. © 2026 Confidential & Proprietary

目次

1. 2027年3月期　第2四半期業績概要

2. 事業の概況

APPENDIX

事業内容

会社概要

Bplats, Inc. © 2026 Confidential & Proprietary

2027年3月期　第2四半期業績概要

Bplats, Inc. © 2026 Confidential & Proprietary

2027年3月期　第2四半期業績ハイライト

第2四半期決算概要

■売上高は、スポット収入・ストック収入ともに減少し、売上高は前年同期比▲21百万円（93.7%）の315百万円と減収。新たな市場としてAIサービス向けの契約課金プラットフォームとして「AI × Monetization」を掲げ、AIエージェント本格導入を支援する技術特化型企業による「AI導入支援コンソーシアム」を発足する等、新規案件獲得に向けた活動を開始

■クラウド通信費用の抑制やAI駆動開発の本格導入開始などによる利益率の改善を行うと共に、前期の固定資産減損により減価償却費の計上が大きく減少したことを主因として売上原価が減少したことを主因に、営業利益は、前年同期比+129百万円の62百万円と黒字転換。一方で、減損損失87百万円を計上したこと等により、親会社株主に帰属する中間純利益は、前年同期比+44百万円の▲41百万円

（単位：百万円）

	2026年3月期 2Q実績（連結）	2027年3月期 2Q実績（連結）	前年差	前年比	2027年3月期 通期業績予想（連結）（2026/11/12公表）	達成率
売上高	336	315	▲21	93.7%	581	54.3%
営業利益	▲66	62	129	—%	82	75.9%
経常利益	▲76	46	122	—%	52	88.7%
親会社株主に帰属する中間純利益	▲86	▲41	44	—%	▲35	—%

	2026年 3月末実績（連結）	2026年 9月末実績（連結）	前期末差	前期末比
総資産	410	808	397	196.8%
純資産	▲447	76	524	—%
自己資本比率	▲109.1%	9.3%	118.4pt	

Bplats, Inc. © 2026 Confidential & Proprietary

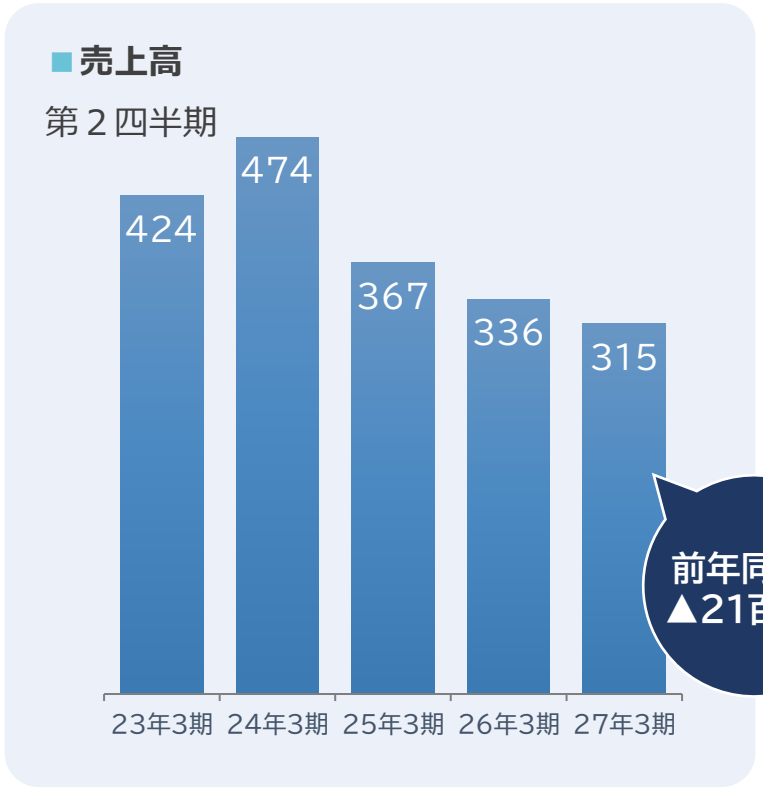
2027年3月期　第2四半期業績ハイライト

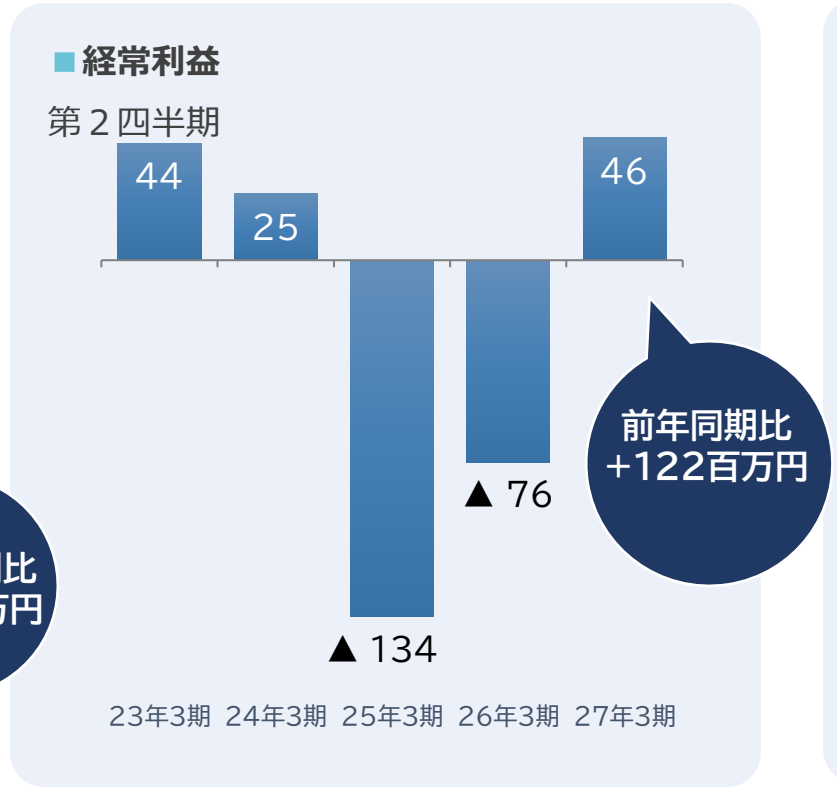
第2四半期業績指標推移

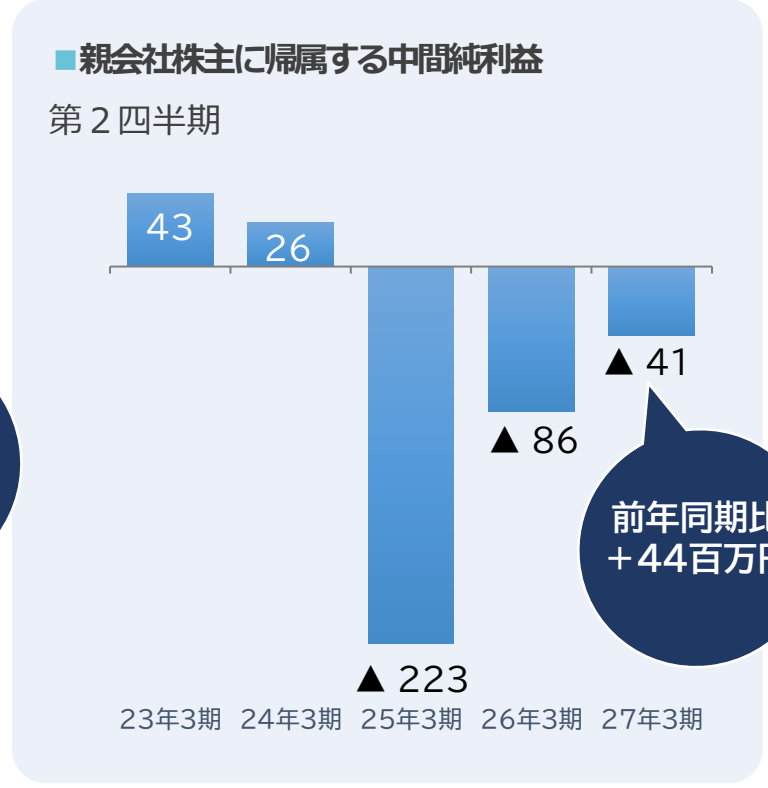
■売上高は前年同期比▲21百万円(93.7%)の315百万円と減収

■売上高は、スポット収入・ストック収入ともに減少し、売上高は前年同期比▲21百万円(93.7%)の315百万円と減収。営業体制の見直しと利益率の改善を行うと共に、新たな市場としてAIサービス向けの契約課金プラットフォームとして「AI × Monetization」を掲げ、AIエージェント本格導入を支援する技術特化型企業による「AI導入支援コンソーシアム」を発足する等、新規案件獲得に向けた活動を実行中。前期の固定資産減損により減価償却費の計上が大きく減少したことや、クラウド通信費用の抑制やAI駆動開発の本格導入開始などによる利益率の改善を行うなどによる売上原価が減少したことを主因に、経常利益は、前年同期比+122百万円の46百万円と黒字転換。一方で、減損損失87百万円を計上したこと等により、親会社株主に帰属する中間純利益は、前年同期比+44百万円の▲41百万円

(単位:百万円)







Bplats, Inc. © 2026 Confidential & Proprietary

2027年3月期　第2四半期業績ハイライト

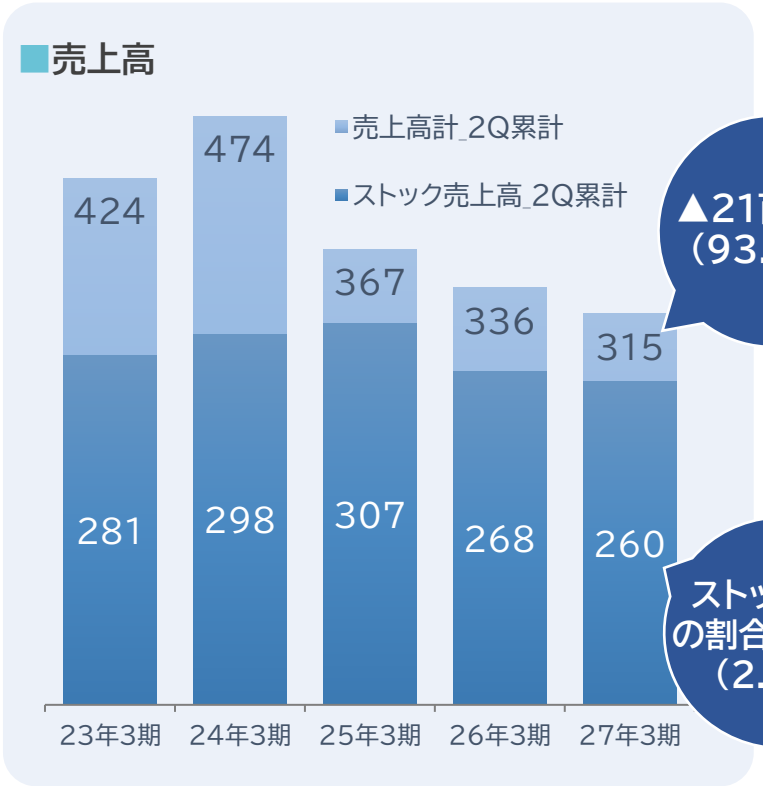
第2四半期売上高推移

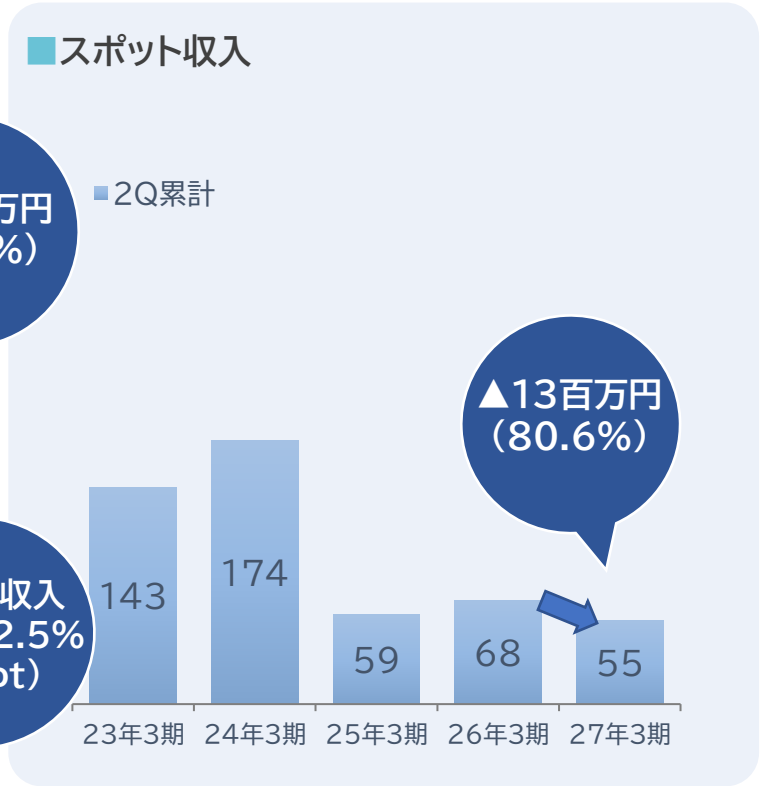
■ストック収入

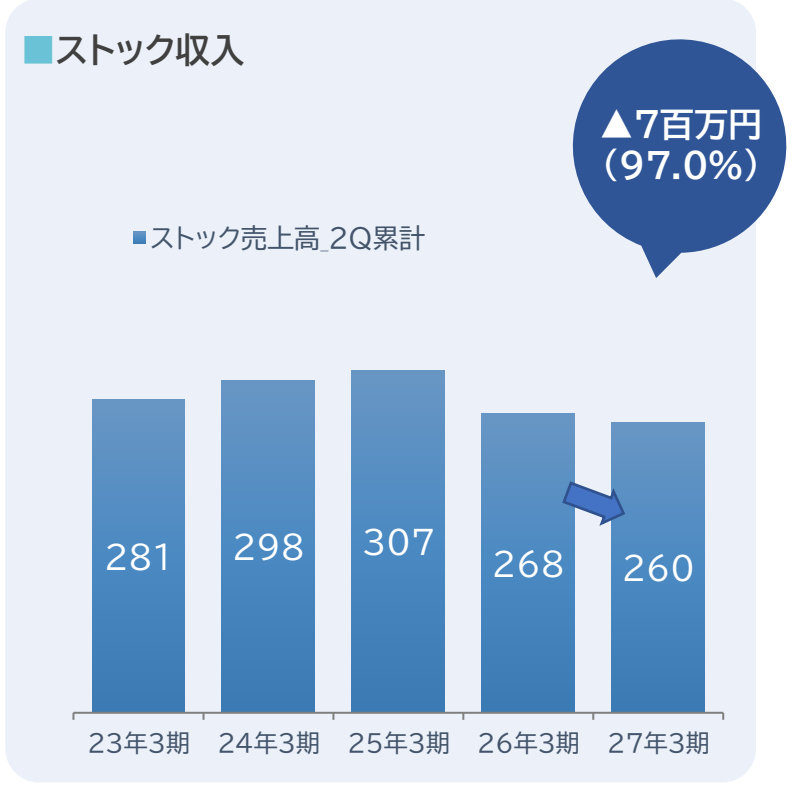
前年同期比▲7百万円(97.0%)の260百万円と、売上高の約8割超を占める。サポートコストの拡大など収益悪化要因となっていた案件の見直しや解約などにより、ストック収入の総額が減少しているものの、既存顧客向けにオプション機能の追加提案するなどによる利益率改善を推進。新規案件獲得によるストック収益の拡大を進める。

■スポット収入

受注件数の減少により、前年同期比▲13百万円(80.6%)の55百万円。AI、通信(MVNO)、光コラボなど従量課金を含むサブスクリプションの統合管理のニーズが拡大している為、下期新規受注獲得に向けた営業活動を実行する。







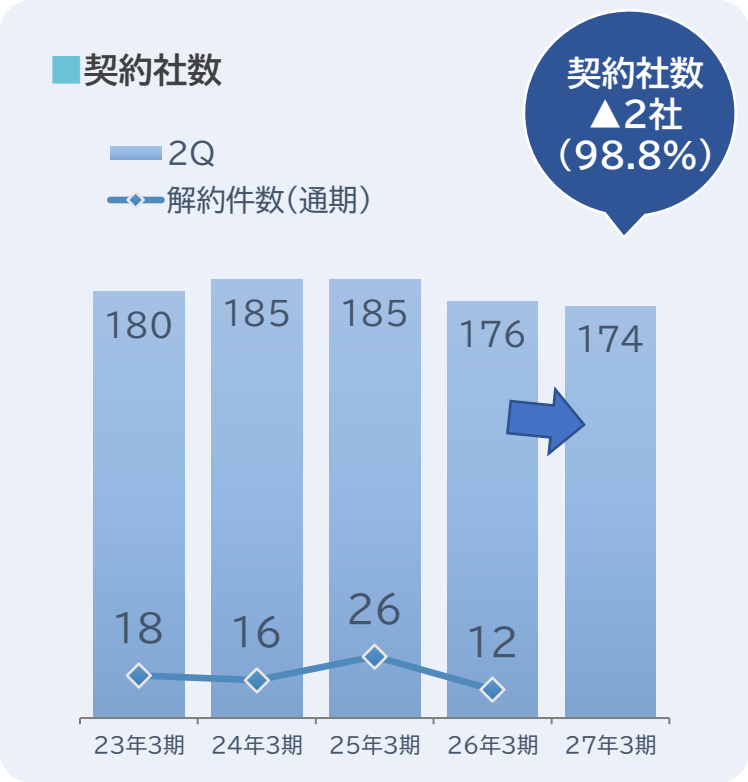
(単位:百万円)

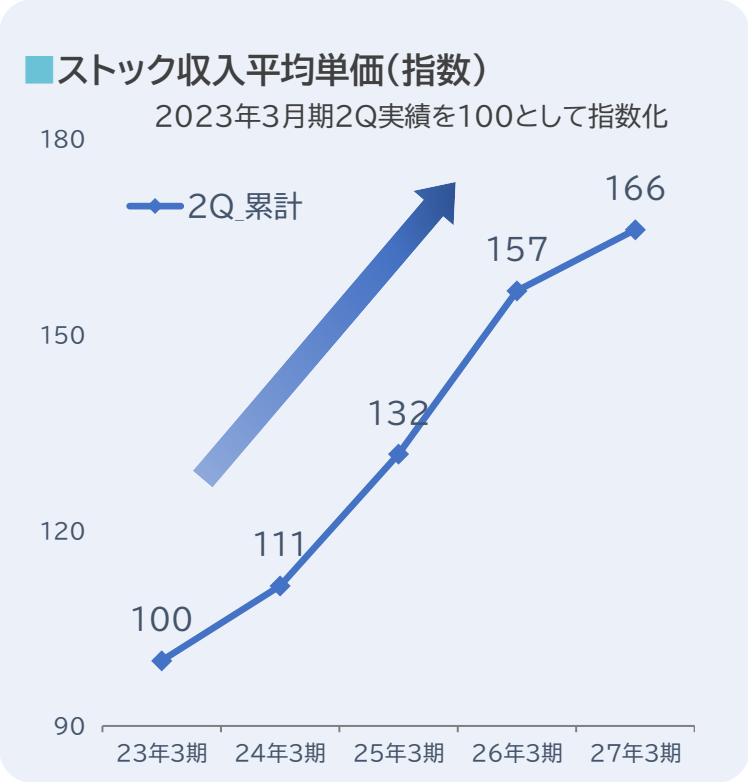
Bplats, Inc. © 2026 Confidential & Proprietary

2027年3月期　第2四半期導入状況

第2四半期導入状況

■契約社数は、導入社数増を先行拡大する事業展開方法を見直したことにより、前年同期比▲2社（98.8%）の174社
■一方で、既存顧客向けのオプション追加やアップグレードなどの顧客単価拡大施策に注力しており、1契約あたりのストック収入平均単価は、2024年3月期より上昇傾向。引き続き利益率の悪い不採算となる営業活動を見直し、利益率の高い顧客向けの営業活動に集中するべく事業見直しを継続して実施中。





※契約社数は無償版契約社数を含みます。また、ITplace株式会社を通じた導入社数は控除しております。

Bplats, Inc. © 2026 Confidential & Proprietary

2027年3月期　第2四半期連結損益計算書

（単位：百万円）

	2026年3月期 2Q実績（連結）	2027年3月期 2Q実績（連結）	前年差	前年比
売上高	336	315	▲21	93.7%
売上原価	222	72	▲150	32.4%
売上総利益	113	243	129	213.5%
販売費及び一般管理費	180	180	0	100.1%
営業利益	▲66	62	129	―%
経常利益	▲76	46	122	―%
税金等調整前中間純利益	▲74	▲41	33	―%
法人税等合計	12	0	▲11	―%
中間純利益	▲86	▲41	44	―%
親会社株主に帰属する中間純利益	▲86	▲41	44	―%

■売上高

ストック収入は契約社数減により減少、
前年同期比▲7百万円（97.0%）
スポット収入は受注件数の減少により前年同期比▲13百万（80.6%）

■売上原価

通信インフラコストは安定的に推移。加えて前期の固定資産減損により減価償却費の計上が大きく減少したことを主因として売上原価全体では前年同期比▲150百万円（32.4%）と大幅に減少

■販売費及び一般管理費

概ね前期並みに推移し、
前年同期比+0百万円（100.1%）

Bplats, Inc. © 2026 Confidential & Proprietary

2027年3月期　第2四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	2026年3月末実績（連結）	2026年9月末実績（連結）	前期末差	前期末比
資産合計	410	808	+397	196.8%
流動資産	410	808	+397	196.8%
固定資産	0	0	+0	—%
負債合計	858	731	▲126	85.2%
流動負債	491	393	▲98	80.0%
固定負債	366	338	▲28	92.3%
純資産	▲447	76	+524	—%

資本の増強により
債務超過を解消

■流動資産

現金及び預金　430
売掛金　▲29

■流動負債

株主優待引当金　▲32
1年内返済予定長期借入金　▲32

■固定負債

長期借入金　▲28

■純資産

中間純損失　▲41
新株の発行　564
自己資本比率は9.3%
（前期末比118.4pt）

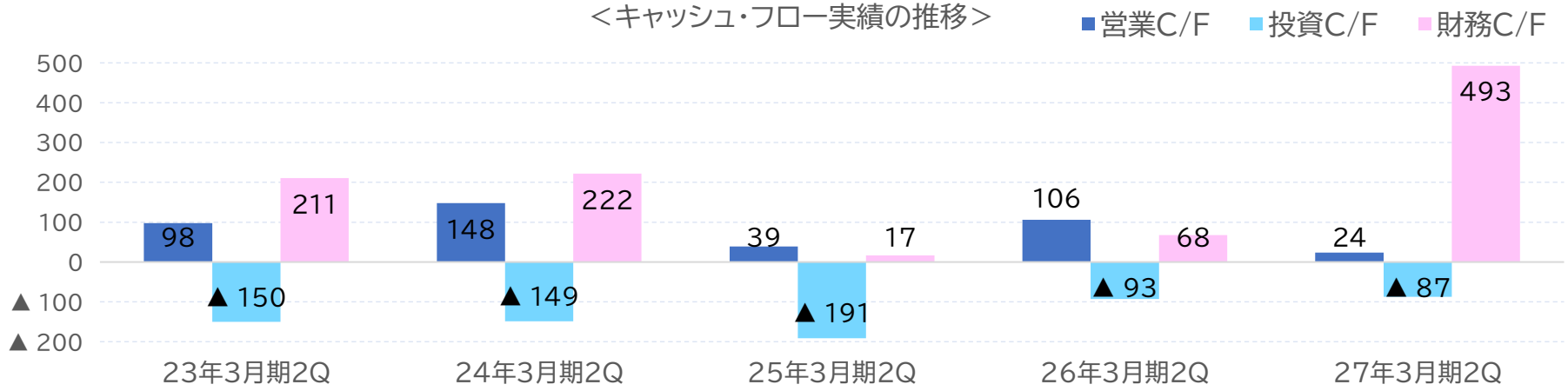
Bplats, Inc. © 2026 Confidential & Proprietary

2027年3月期　第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	2026年3月期 2Q実績	2027年3月期 2Q実績	増減	主要因
営業活動によるC/F	106	24	▲81	減損損失 87 売上債権の減少額 29 税金等調整前中間純利益 ▲41 未払消費税等の減少額 ▲26 株主優待引当金の減少額 ▲32
投資活動によるC/F	▲93	▲87	+5	無形固定資産の取得による支出 ▲87
財務活動によるC/F	68	493	+424	新株予約権による株式の発行による収入 559 長期借入金の返済による支出 ▲60
現金及び現金同等物の増減額	82	430	+348	
現金及び現金同等物の当期末残高	150	722	+572	

＜キャッシュ・フロー実績の推移＞



Bplats, Inc. © 2026 Confidential & Proprietary

2027年3月期　連結業績予想

連結業績予想の修正について（2026年11月12日公表）

■売上高

スポット収入は、足元の環境も踏まえて、期初予想で見込んでいた程度には新規案件を受注できない見通しとなり、期初予想を大幅に下回る見込み。
ストック収入は、堅調に推移し、期初予想を達成する見込み。
これらの結果により、売上高は前回予想を大きく下回る見込み。

■利益

売上原価及び販売費及び一般管理費は、通信インフラコスト、労務費・人件費・採用教育費、役員報酬等の各種コスト削減施策の強化及び推進が奏功し、売上原価と販売費及び一般管理費の合計値は期初予想を下回る見込みであることから、営業利益と経常利益は前回予想を上回る見込み。
親会社株主に帰属する当純利益については、ソフトウエア仮勘定（無形固定資産）に係る減損損失87百万円を当中間連結会計期間に計上したことにより、前回発表予想を大きく下回る見込み。

（単位:百万円）

	2026年３月期 実績	2027年３月期 当初予想 (2026/5/14公表)	2027年３月期 修正予想 (2026/11/12公表)	増減額 (前回予想比)	増減率 (前回予想比)
売上高	**727**	**698**	**581**	▲117	▲16.7
営業利益	**▲126**	**62**	**82**	+19	+30.2
経常利益	**▲142**	**43**	**52**	+8	+19.8
親会社株主に帰属する当期純利益	**▲925**	**42**	**▲35**	▲77	—
１株当たり当期純利益（円）	**▲361.82**	**9.11**（注）	**▲7.56**（注）	—	—

（注）業績予想の「1株当たり当期純利益」については、新株予約権の行使による新株式の発行の影響を考慮しております。

Bplats, Inc. © 2026 Confidential & Proprietary

事業の業況

主要商品・サービス

bplats® platform edition

主力製品であるサブスクリプション統合プラットフォーム「Bplats® Platform Edition」

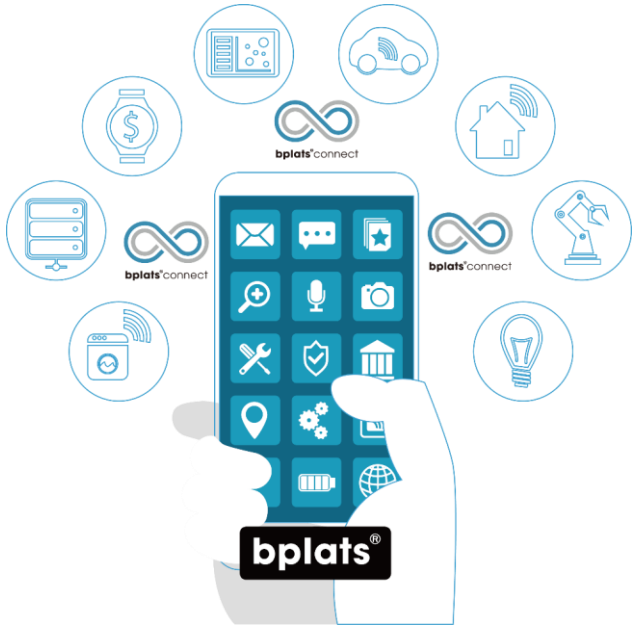
継続的な機能強化を行い、サブスクリプション統合プラットフォームとしての価値向上を実行しています。

AMANEX

AI 駆動開発支援基盤「AMANEX」

クウジット株式会社との業務提携により、
AI 駆動開発支援基盤
「AMANEX」事業を開始しました。
（2026.7.10発表）

bplats®
AI × Monetization



bplats® Collabo

光コラボ事業者のための＋αシステム
「Bplats® Collabo」

Bplats® Collaboは顧客向けオンライン受付サイトやマイページの提供から、光コラボレーション事業にとっての専門的な販売管理機能を加えた総合的なサービスです。

Subkan

社内のAI活用やSaaSサービスの契約・割当の一元管理ツール「サブかん®」

「サブかん® は、企業が利用する各種SaaSの外部購買・契約管理・社員割当を一元管理できるサービスです。企業内でのAI活用はこれまでのライセンス体系の費用管理とは異なり、使った分だけの従量課金につながります。会社として、社員の誰にどのAIの利用を許可しているのか、新しい課題解決が求められています。

Bplats, Inc. © 2026 Confidential & Proprietary

主要トピックス

（2026年5月29日公表）

第三者割当による第7回新株予約権（行使価額修正条項付）の発行について

当社は、2026年5月29日開催の取締役会において、グロースパートナーズ株式会社が管理・運営を行うファンドであるGP上場企業出資投資事業有限責任組合に対して第三者割当の方法により第7回新株予約権を発行すること（以下「本第三者割当」といいます。）について決議し、2026年6月15日にその払込が完了しております。

第7回新株予約権の概要

① 割当日	2026年6月15日
② 発行新株予約権数	20,051個
③ 発行価額	総額2,205,610円（本新株予約権1個当たり110円）
④ 当該発行による潜在株式数	2,005,100株（本新株予約権1個当たり100株） なお、下記「⑥行使価額及び行使価額の修正条件」に記載のとおり行使価額が修正される場合がありますが、いかなる行使価額においても、潜在株式数は、2,005,100株で一定です。
⑤ 調達資金の額	746,097,710円（注） （内訳） 本新株予約権発行分　2,205,610円 本新株予約権行使分　743,892,100円
⑥ 行使価額及び行使価額の修正条件	当初行使価額は、371円とします。但し、本新株予約権には、以下の修正条項が定められています。 2026年6月16日以降、本新株予約権の各行使請求の効力発生日（以下「修正日」といいます。）の直前の取引日（株式会社東京証券取引所（以下「東京証券取引所」といいます。）において売買立会が行われる日をいいます。但し、東京証券取引所において当社普通株式のあらゆる種類の取引停止処分又は取引制限（一時的な取引制限も含む。）があった場合には、当該日は「取引日」に当たらないものとします。以下同じ。）の東京証券取引所における当社普通株式の普通取引の終値（同日に終値がない場合には、その直前の取引日の終値）の90%に相当する金額（計算の結果1円未満の端数が生じる場合は、その端数を切り上げた金額。以下「修正日価額」といいます。）が、当該修正日の直前に有効な行使価額を1円以上上回る場合又は下回る場合には、行使価額は、当該修正日以降、修正日価額に修正されます。但し、上記の計算の結果算出される金額が下限行使価額である164円を下回る場合には、修正後の行使価額は下限行使価額とします。
⑦ 行使請求期間	2026年6月16日から2030年6月15日
⑧ 募集又は割当方法	第三者割当の方法によります。
⑨ 割当先	GP上場企業出資投資事業有限責任組合
⑩ 資金使途	既存事業の安定的運営のための運転資金及び既存借入金の返済資金

Bplats, Inc. © 2026 Confidential & Proprietary

主要トピックス

（2026年7月8日公表）

AIエージェントの本格導入を支援する技術特化型企業による「AI導入支援コンソーシアム」を発足

（2026年10月15日公表）

AIエージェントの本格導入を支援する技術特化型企業による「AI導入支援コンソーシアム」正会員企業が15社に拡大

当社を幹事会社として、日本マイクロソフト株式会社賛同のもと、技術特化型企業8社による「AI導入支援コンソーシアム」を発足しました。

国内企業の多くが、AIエージェントの社内導入に対し「検討」から「実行」へとフェーズを移行しつつあります。しかしながら、これまでの単なる生成AIの活用や、他のツール型のシステム導入とは異なり、AIエージェントを活用することは「導入目的・導入実行・運用」を一体型で対応する必要があり、また、技術が日進月歩で進化しているなか、利用企業単体では正解が分かりづらいのが実情です。これらの企業での「導入の壁」「運用の壁」を取り除くために、AI活用に対して得意分野をもつIT企業が結集し、総合的にサポートする体制を構築しました。

「AI導入支援コンソーシアム」では、コンソーシアムに参加いただく会員企業のサービスや商品をワンストップで紹介するマーケットプレイス（https://www.ai-consortium.jp）を公開し、AIエージェントの導入支援に関連する技術特化型のIT企業に対してコンソーシアムへの会員募集を開始いたします。コンソーシアムの会員にご参加いただくことでマーケットプレイスにて商材やサービスを紹介いただけるようになります。

正会員企業8社で発足したコンソーシアムですが、新たに7社が正会員となり合計15社に拡大しております。今後も引き続き組織の拡大及びマーケットプレイスの活性化を目指してまいります。

AI 導入支援 コンソーシアム



主要トピックス

（2026年7月10日公表）

クウジットとAI駆動開発に関連するAI設計支援基盤の構築業務支援に関する事業提携を発表

（2026年8月17日公表）

クウジットが開発したAI駆動開発支援基盤「AMANEX（アマネックス）」の販売開始

当社とクウジット株式会社（以下、クウジット）は、AI設計支援基盤の構築業務支援に関する事業提携契約を締結しサービス提供を開始しました。

SaaSサービス事業者や、レガシーシステムのマイグレーションを希望されている企業様などに対し、両者で培ったAI導入のノウハウをサービスメニュー化し提供を開始します。

また、事業提携のサービスメニュー化の基礎としたビープラッツが提供するサブスクリプション統合プラットフォーム「Bplats®」のAI設計支援基盤の構築を両者共同で実現した取り組み内容について、White Paperとして無料公開を開始いたしました。

2026年7月10日発表のAI設計支援基盤の構築業務支援に関する事業提携契約に基づき、クウジットが開発・提供する AI駆動開発支援基盤「AMANEX（アマネックス）」（https://www.koozyt.com/solutions/amanex）をビープラッツが販売開始することを発表いたします。ビープラッツは、自社での「AMANEX」の導入実績を基に、AI駆動開発に取り組むSaaSサービス会社や、システムインテグレータ等に対し、販売パートナーとして、提案販売を開始いたします。

AMANEX

（1）サービス名「AMANEX docgen」 — 設計支援基盤 巨大コードから設計ドキュメントを完全自動生成。属人的な設計知識を客観的なドキュメントへ変換し、機能拡張やモダナイゼーションの確実な足場をつくります。

（2）サービス名「AMANEX Knowledge」 — 知識支援基盤 社内に分散するナレッジを横断検索。必ず元となった文書の引用をエビデンスとして提示し、ハルシネーションを抑制した回答を生成します。

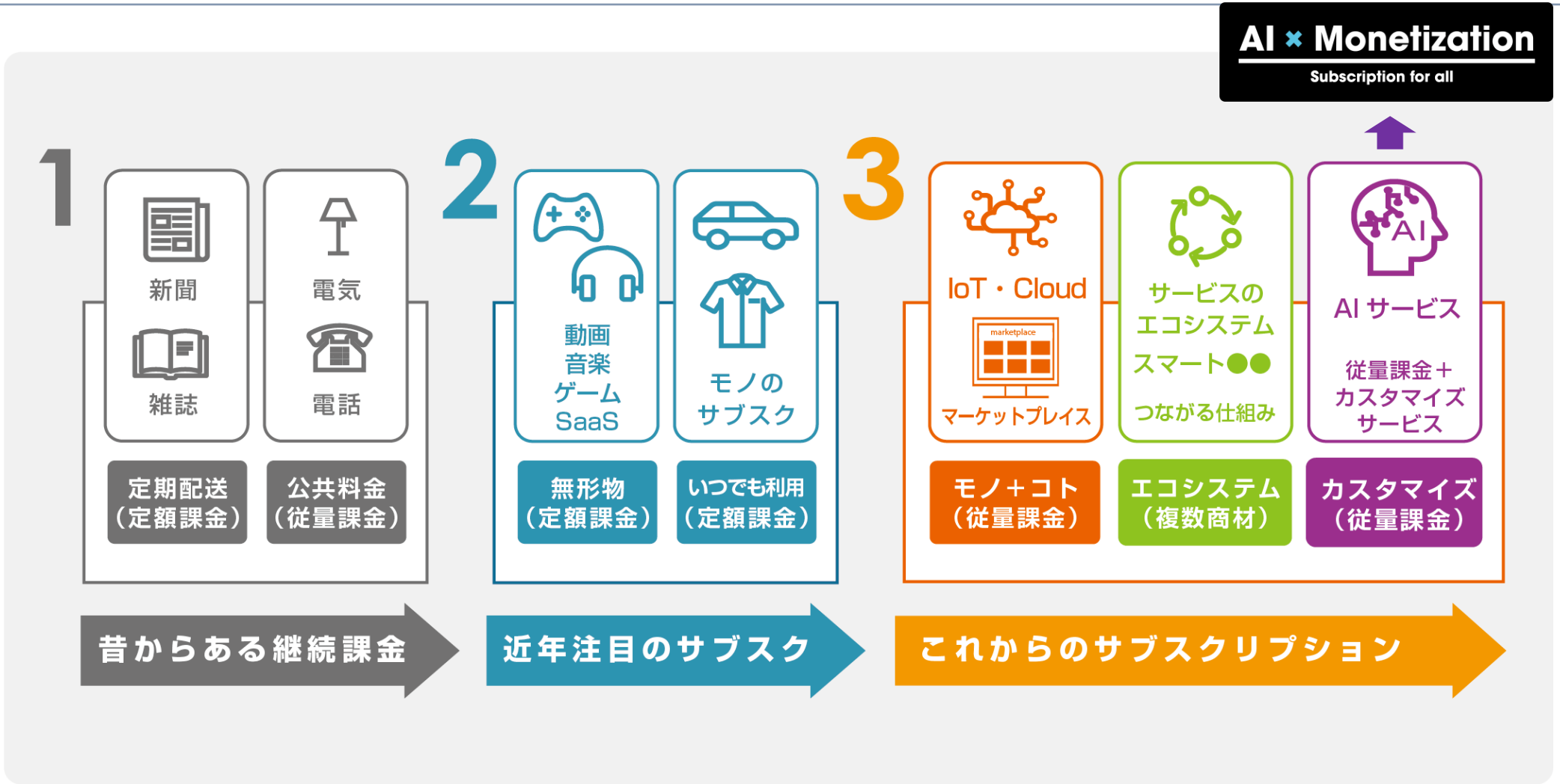
Bplats, Inc. © 2026 Confidential & Proprietary

事業内容

AI×マネタイズ　｜　AI時代のサブスクリプション

Bplats, Inc. © 2026 Confidential & Proprietary

市場背景



「どのようにサブスクリプション化するか」という事業活動から、「サブスクリプションを前提としてどう使いこなすのか」と市場変化に合わせて当社のミッションも「サブスクリプションをすべてのビジネスに」から「新しいつながり、新しいデジタル共創」に変更し、サブスクリプションを用いてどのように社会課題の解決を実現するかというテーマに取り組んでまいります。

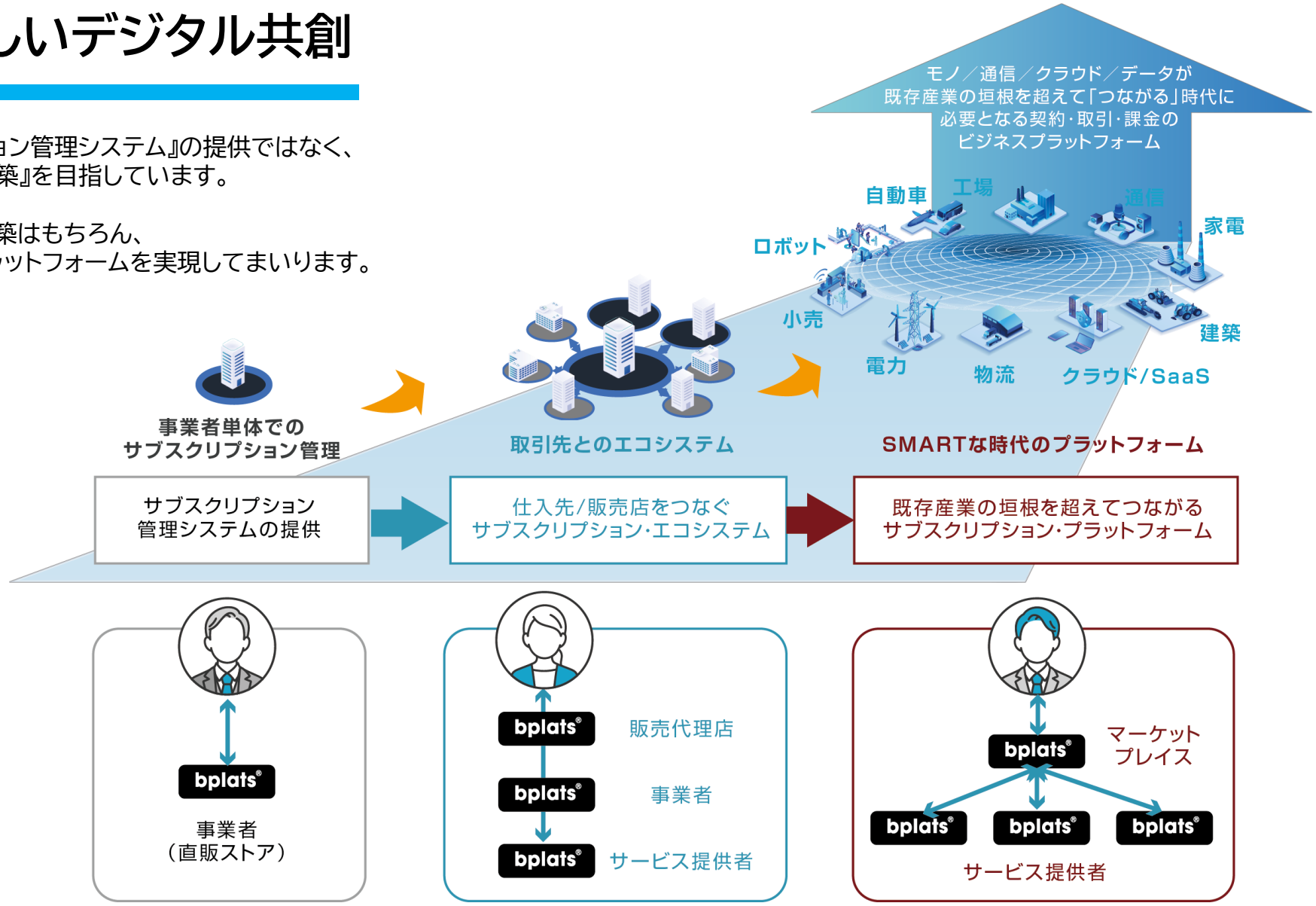
Bplats, Inc. © 2026 Confidential & Proprietary

ビープラッツの描く事業モデルの未来図

新しいつながり、新しいデジタル共創

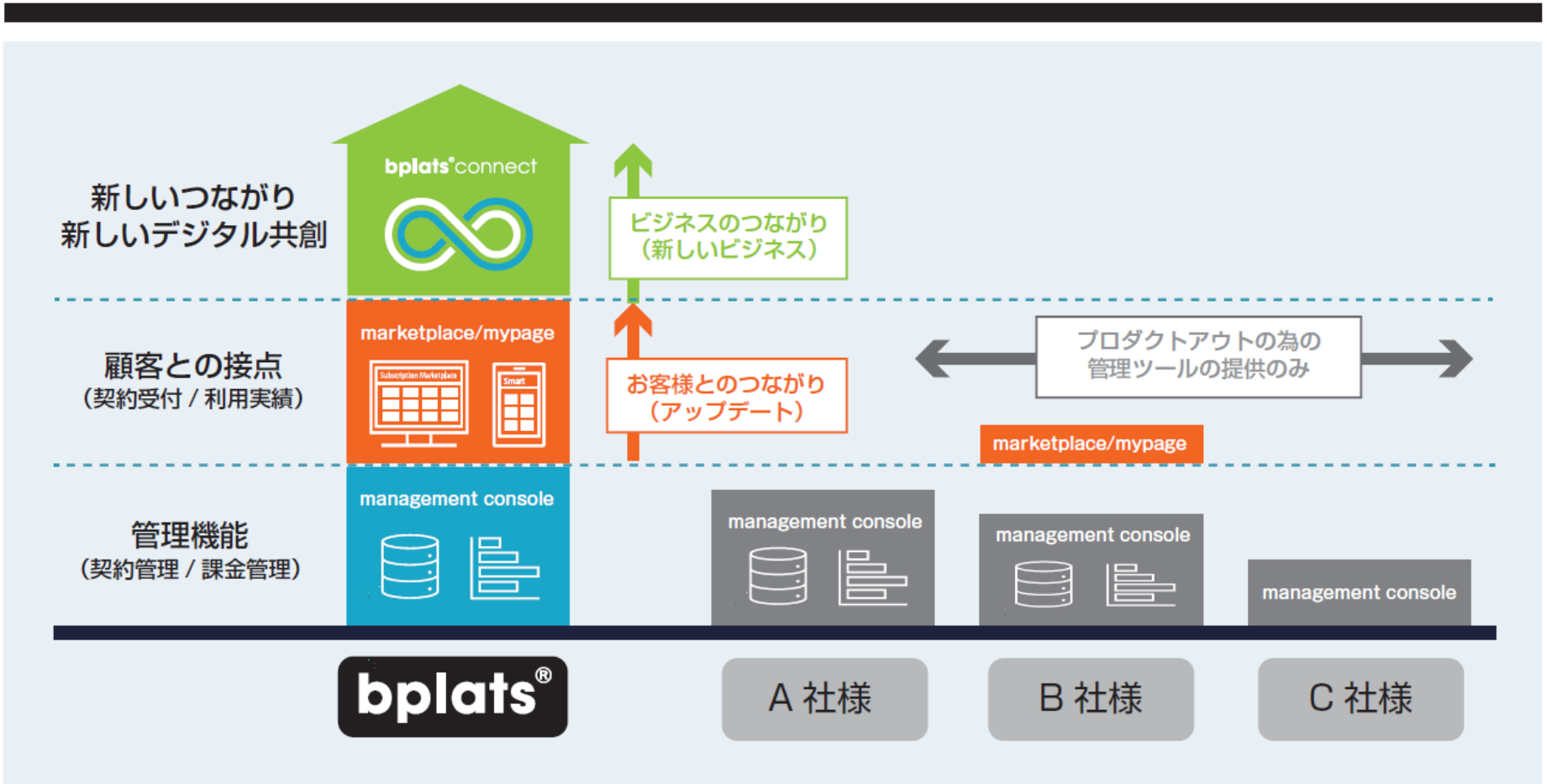
ビープラッツは、単なる『サブスクリプション管理システム』の提供ではなく、
すべてが『つながる時代の取引基盤の構築』を目指しています。

従来からの取引先とのエコシステムの構築はもちろん、
既存産業の垣根を越えた『つながる』プラットフォームを実現してまいります。



Bplats®の製品コンセプトの特徴

他社製品とのコンセプトの違い



競合他社が、「サブスクリプションシステム」を管理システムとして提供していることと比較し、当社は「サブスクリプションは顧客との継続的な関係を担保すること」と考え、「新しいつながり、新しいデジタル共創」を産み出すためのプラットフォームシステムを提供しています。
「サブスクリプション」を用いたB2B2C、B2B2Bビジネスが活性化するとともに、Bplatsの強みの機能が重要となってきています。

管理機能（契約管理・課金管理）に加え、顧客接点機能（マイページ/マーケットプレイス）、更にはつながる機能（企業間取引連携）までをオールインワンパッケージのクラウドサービスとして提供しているのは当社独自の強みとなっています。

Bplats, Inc. © 2026 Confidential & Proprietary

システム概要　機能一覧

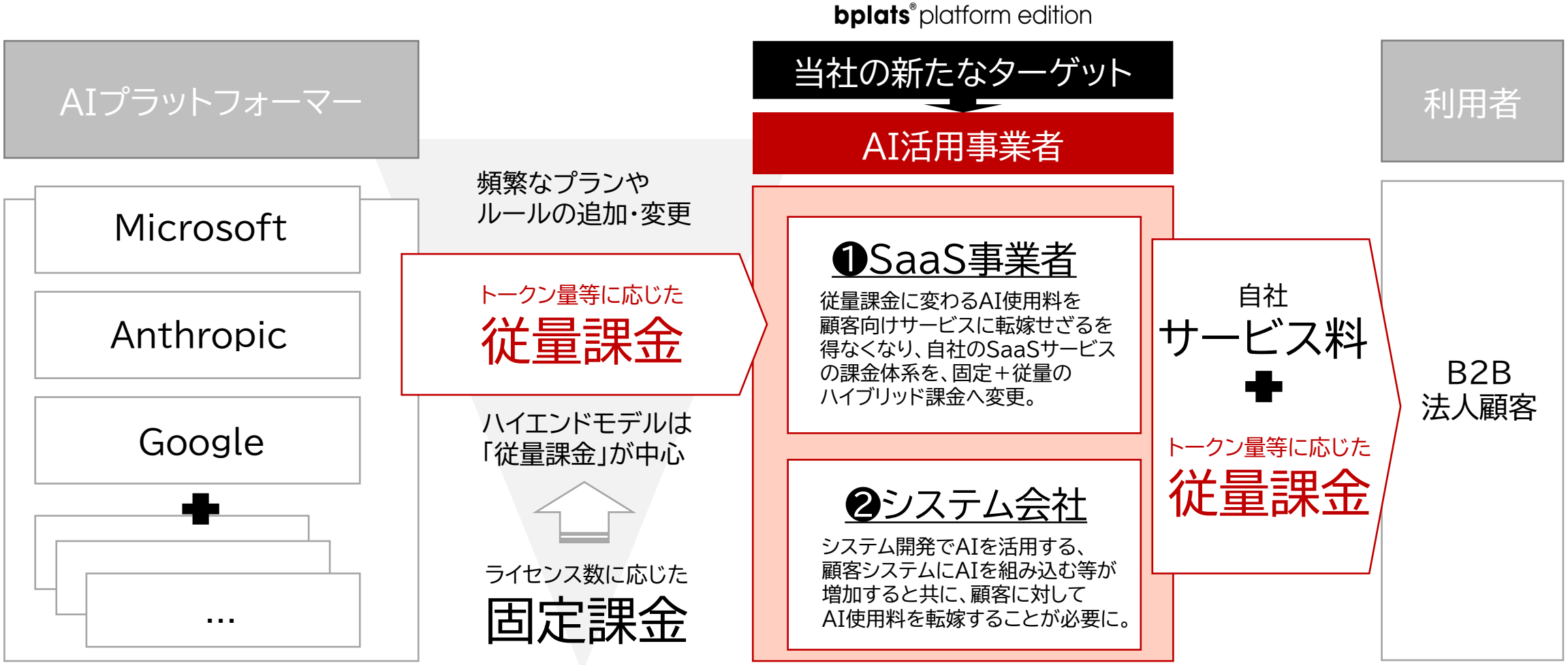
特許査定取得（特許7205158）（特許7205159）（特許7611067）（特許7611068）

サブスクリプション統合システムとしての豊富な機能を提供しています。ビジネスの進捗に合わせて必要なオプション機能を追加利用いただけるなど、事業開始時にはスモールスタートから、本格的なビジネス展開の需要まで同一プラットフォームで対応することができます。また、「AI課金」という新しい市場ニーズにもすでに備えている「従量課金」に関する課金機能や、マイページを経由した請求書・請求明細の提示など各種機能にて対応が可能です。



参入が加速する「AI活用事業者」に対するBplats®の強みを活かした提案活動

AIエージェントの活用などが加速化するなか、AIプラットフォーマーによるAIの料金体系は「固定」から「従量」にシフトしています。この変化により、AIプラットフォーマーの提供するAIを活用する「AI活用事業者」も自社の顧客向けに対し、「従量」モデルへの対応が余儀なくされます。

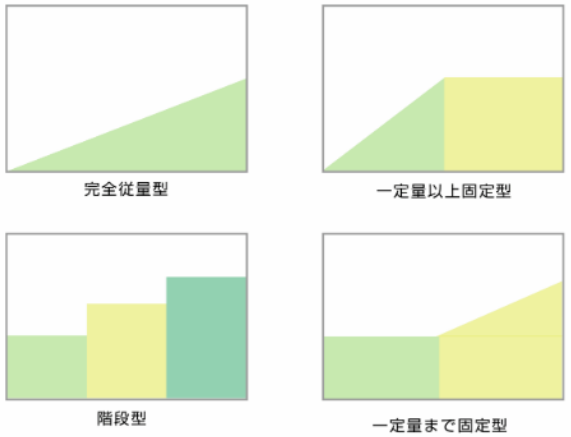


Bplats, Inc. © 2026 Confidential & Proprietary

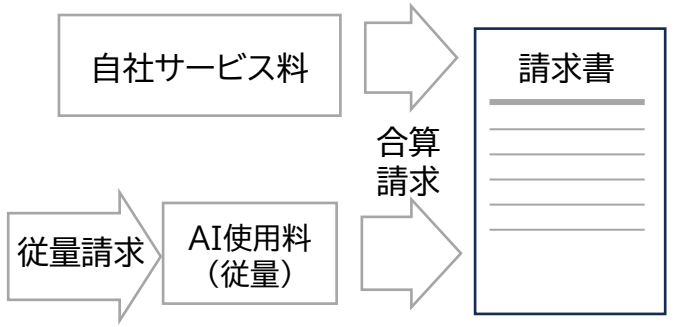
「AI課金」に求められる新たな要件に対応可能なBplats®の優位性

競合他社のサブスクシステムや決済会社システムでは実現できていない、複雑な従量課金モデルへの対応。従量課金を含む請求書の自動生成、利用者向けマイページでの請求明細の提示など、これまでにクラウドサービス事業者、携帯(MVNO)事業者、光コラボ(電話明細)事業者等のプラットフォームとして活用を頂いている「Bplats®」の豊富なパッケージ機能をAI課金においてもご活用いただくことができます。

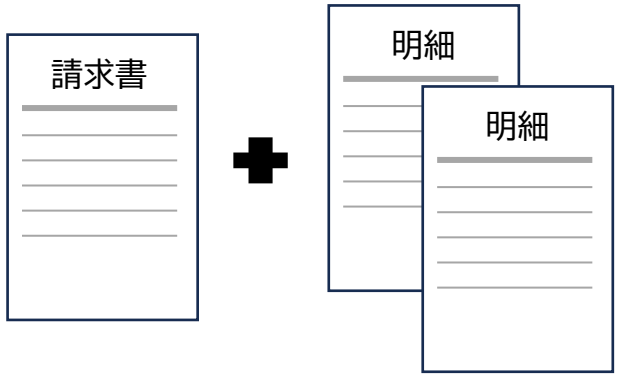
①利用者(顧客)向けに**「従量課金」の自動計算**を実現すること



②自社サービスの固定費用＋「従量課金」という複雑な**請求書を自動生成**すること



③利用者(顧客)に「従量課金」の金額の根拠となる**【明細情報】を提示**すること



bplats® platform edition

※Bplats®ではパッケージとして上記に適合する機能の提供がすでに可能です

Bplats, Inc. © 2026 Confidential & Proprietary

当社のAI市場に対する戦略

AI導入支援コンソーシアムの活動を通じ、技術特化企業との連携を活発化し市場をけん引して参ります。
主力製品であるBplats®は「AI課金」に対応可能な課金と契約管理のプラットフォームシステムとして顧客数拡大に向けた活動を行います。

マイクロソフト賛同のもと
技術特化企業8社による
コンソーシアムを発起。
マーケットプレイスをオープン
（2026.7.8発表）

AI 導入支援 コンソーシアム

クウジット株式会社との
業務提携により、
AI 駆動開発支援基盤
「AMANEX」事業を開始
（2026.7.10発表）

AMANEX

主力製品である
「Bplats® Platform Edition」
AI活用事業者向けサービスや
機能強化を推進
（2026.3.10発表）

bplats®
AI × Monetization

コンソーシアム参加企業様との
連携によるAI導入の促進

SaaS事業者等に対し、
AI駆動開発の促進・AI活用支援

AI活用事業者に対する課金・契約管理の
プラットフォーム提供を通じ、事業を支援

Bplats, Inc. © 2026 Confidential & Proprietary

商品プラン

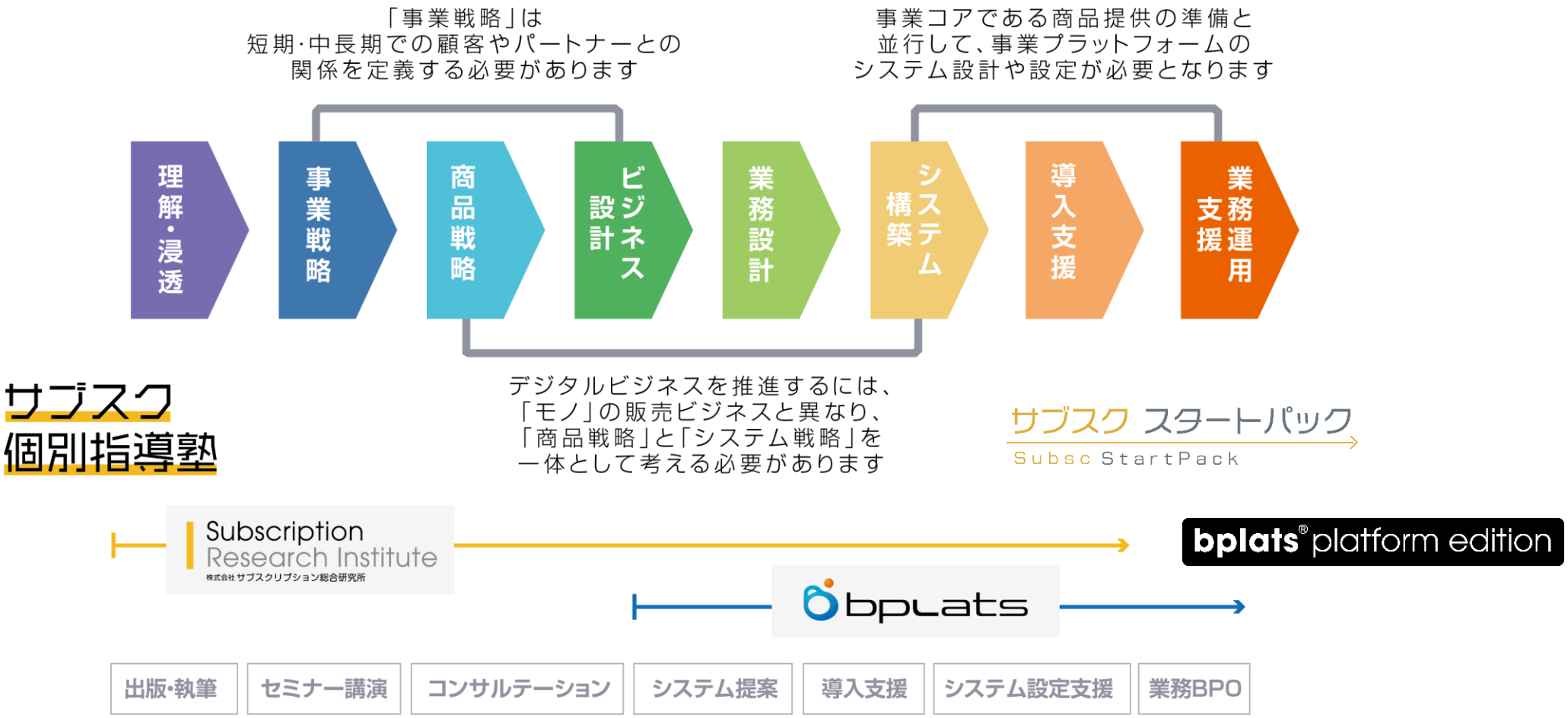
bplats® platform edition

	気軽にコストをかけずにスタートしたい事業者向け	豊富なオプション機能を活用する事業者向け	販売代理店とのエコシステムを構築する事業者向け	つながる専用にストア/マイページ無の特別プラン
	Lite	**Professional**	**Enterprise**	**Bplats Connect 特別版**
	まずはお手軽にBplatsの豊富な機能をご活用ください。ライト版より、サブスクリプション管理システムに加え、マーケットプレイス、マイページが標準でパッケージされています。	豊富なオプション機能を用いて新事業を展開する事業者向けのプランです。最も多くの事業者にご選択を頂いており、全ての機能を必要に応じて選択し、ご利用いただけます。	最大6ストアまでの複数ストアの開設や再販型の代理店とのエコシステムの為のプランです。事業者(1ライセンス)と代理店(5ライセンス分)が含まれたお得なプランです。	ストアやマイページ機能が不要で、「Bplats® connect」の利用する事業者向け。別のシステム利用を導入済の事業者様にもおすすめです。
初期費用	**¥1,200,000** (税込¥1,320,000)～	**¥3,600,000** (税込¥3,960,000)～	**¥6,000,000** (税込¥6,600,000)～	**¥240,000** (税込¥264,000)～
月額基本料(固定)	**¥117,000** 税込¥128,700)～	**¥576,000** (税込¥633,600)～	**¥1,170,000** (税込¥1,287,000)～	**¥117,000** (税込 ¥128,700)～
月額使用料(従量)	○	○	○	なし

スモールスタートをし、事業のステージにあわせてバージョンアップや、必要な機能オプションを追加ご契約いただくことができます。
そのため、事業拡大時に新しいシステムに入れ替えるなどは必要ありません。
日本の法規制への対応や、新しい機能オプションを開発し、ご提供を続けています。変化の激しいデジタルビジネスの市場要求に対し、Bplats®をご活用いただく事業者の投資コストを抑え、時代の最新機能を継続的にご提案させていただきます。

Bplats, Inc. © 2026 Confidential & Proprietary

サブスクリプションのプロフェッショナル集団として

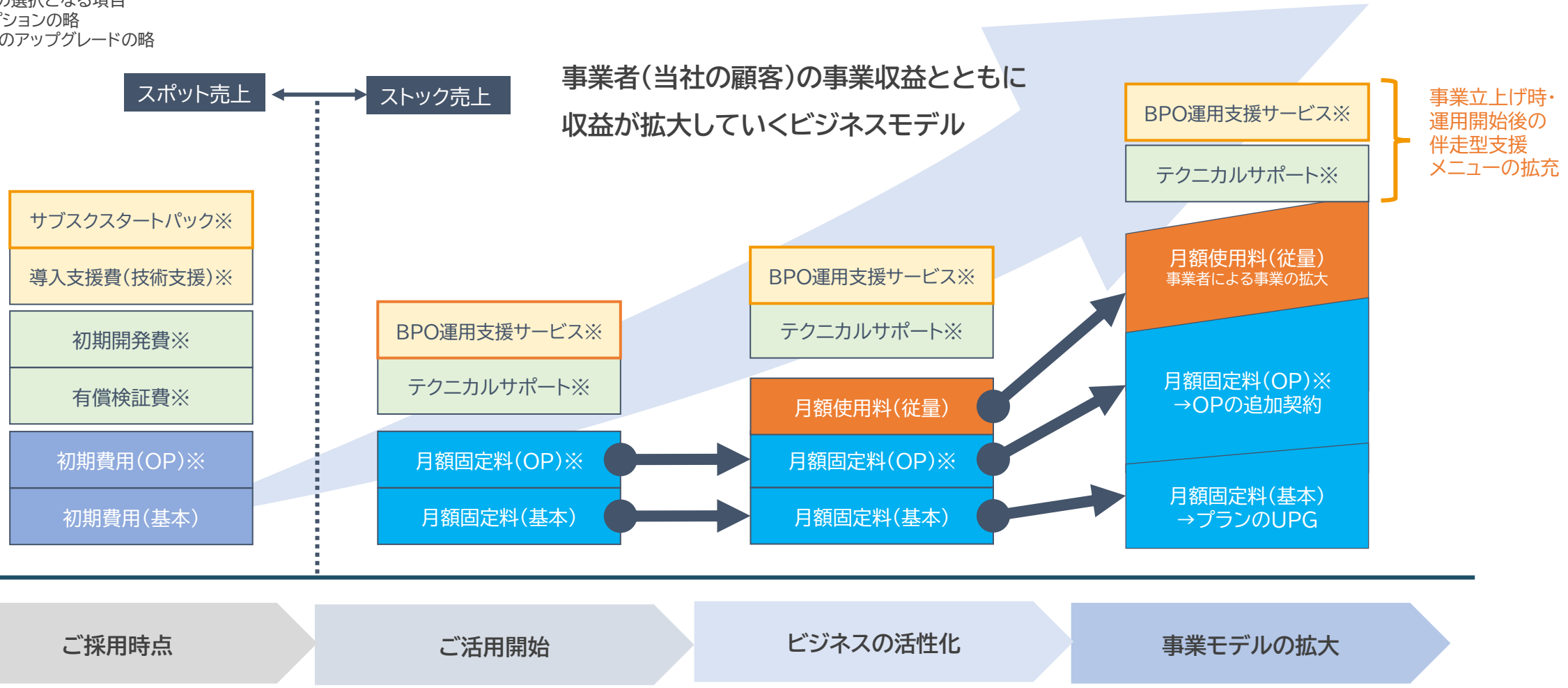


株式会社サブスクリプション総合研究所(当社100%子会社)による出版·執筆などを通じたサブスクリプションについての啓蒙活動から、お客様へのプラットフォームシステムの業務設計からシステム構築や支援については、ビープラッツ㈱が提供することにより、サブスクリプションビジネスのプロフェッショナル集団として活動しています。

Bplats, Inc. © 2026 Confidential & Proprietary

収益拡大のイメージ

●※：事業者毎の選択となる項目
●OP：有償オプションの略
●UPG：プランのアップグレードの略



事業者（当社顧客）の事業立ち上げを様々な形でご支援。

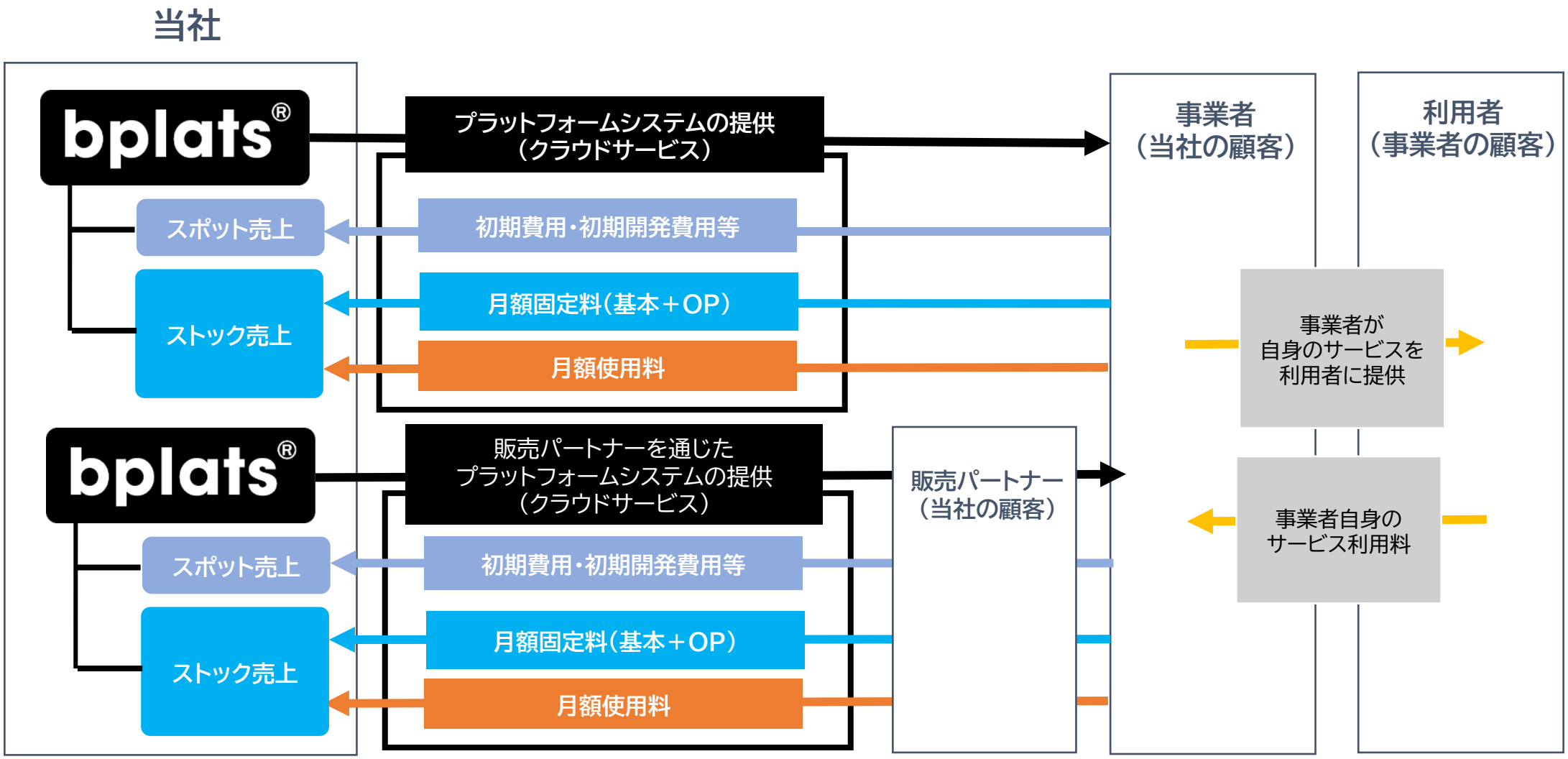
事業者（当社顧客）の事業モデルに応じたプラン（ライト版・プロフェッショナル版・エンタープライズ版など）が選択可能。プラン別の月額固定料が発生。

事業者（当社顧客）の事業拡大により、売上等に応じた月額使用料（従量）が加算。また、プランのアップグレードやオプション追加等により追加費用が発生。

事業者（当社顧客）の事業モデル拡大に対応した、アップグレード、オプション追加に伴い月額固定料が増加。事業拡大により月額使用料も増加。

Bplats, Inc. © 2026 Confidential & Proprietary

事業系統図



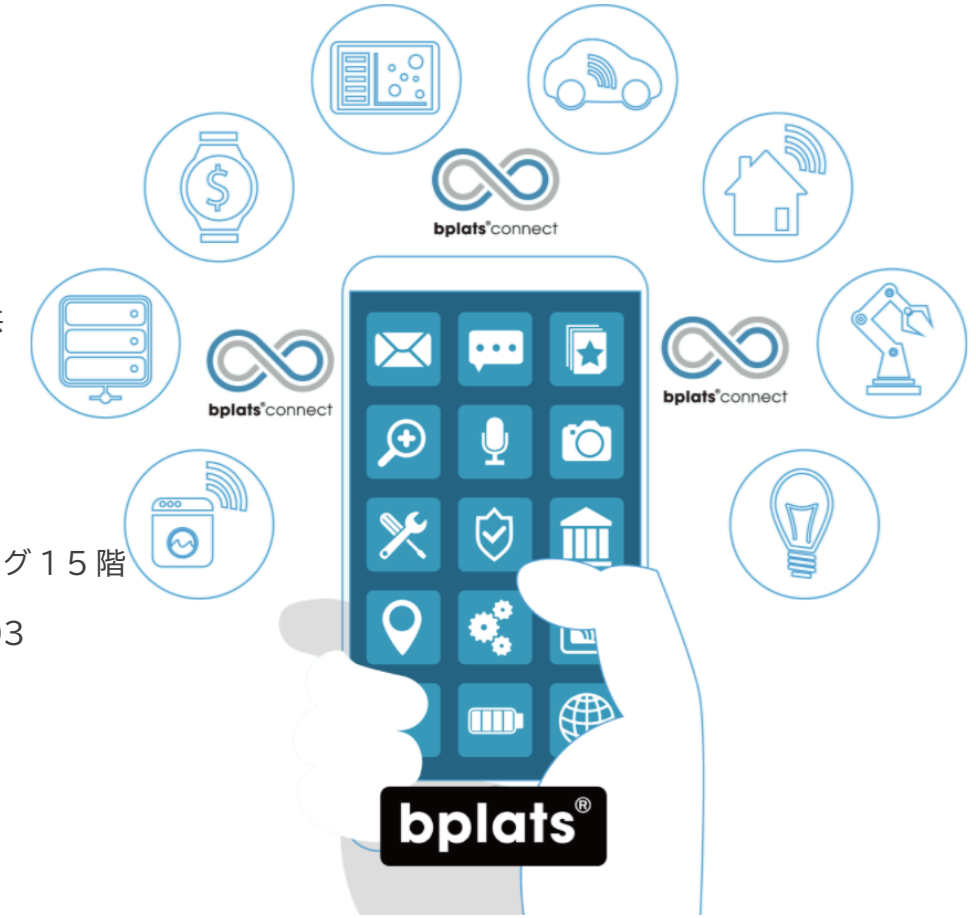
「Bplats®」をクラウドサービスとして提供しています。当社が事業者（当社の顧客）に直接提供する場合と、当社の販売パートナー経由で事業者に提供される場合があります。

Bplats, Inc. © 2026 Confidential & Proprietary

会社概要

会社概要

会　社　名	ビープラッツ株式会社（Bplats, Inc.）
代　表　者	代表取締役社長　藤田健治
資　本　金	3億3,267万円（2026年9月30日時点）
U　R　L	https://www.bplats.co.jp/
会社設立	2006年11月17日
証券コード	4381（東証グロース）
事業内容	クラウドコンピューティングを利用した サブスクリプション（継続ストックビジネス）のプラットフォームの提供
従業員数	43名（2026年3月31日時点）
主な株主	東京センチュリー株式会社 役員・従業員　ほか
所　在　地	【本社】 東京都千代田区神田練塀町3　ヒューリック秋葉原タワービルディング15階 【サブスクリプションセンター】 福岡県北九州市小倉北区浅野3-8-1　AIMビル6階 COMPASS小倉203
関係会社	株式会社サブスクリプション総合研究所



Bplats, Inc. © 2026 Confidential & Proprietary

関係会社概要

Subscription
Research Institute
株式会社サブスクリプション総合研究所

サブスクリプションビジネスは、各産業において多くの可能性を秘めている一方、未だ勃興期といえるステージにあり、その社会的意義や経済効果、産業内での影響などについて、研究や調査が十分に及んでいない状況にあります。こういった背景のなか、サブスクリプション総合研究所は、サブスクリプションビジネスについて中立的な立場で多面的に研究・著作・啓蒙活動をすすめております。

会　社　名	株式会社サブスクリプション総合研究所
代　表　者	代表取締役社長　宮崎琢磨
設　　立	2019年4月1日
本社所在地	東京都千代田区神田練塀町3 ヒューリック秋葉原タワービルディング15階
事業内容	サブスクリプションの啓蒙に関する研究、 執筆、出版、公演 サブスクリプション事業化支援
資　本　金	1,000万円(2026年9月30日時点)
株　　主	当社　100%
決　算　期	3月末

出版・啓蒙









コンサルティング

サブスク
個別指導塾

社内で検討する新規事業に対する考えをまとめたい方などを対象とした個別での専門家による指導塾を開催しています。また、サブスクリプションのセミナーでの講師の対応なども実施しています

コンサルティング
サポートプログラム

新規事業としてサブスクリプション事業に取り組まれる皆様に、新規事業企画のスペシャリストチームが、皆様の目指す姿や状況に応じた計画策定と実行をサポートするコンサルティング「サポートプログラム」をご提供しています

支援サービス

サブスク スタートパック
Subsc StartPack

サブスクリプション管理システムの準備における課題を解決し、サブスクリプション事業をスムーズに開始できるようご支援いたします。サブスクリプションを熟知した専門のスタッフが、サブスクリプション事業について適切な提案・整理・調整等を行い、プロジェクト管理からシステムテストまでを一気通貫でサポートいたします。
お客様の課題にあわせて、「スタートパック設計支援」「スタートパック構築支援」「スタートパックデザイン支援」の3つのプランをご用意しており、「スタートパック設計支援」と「スタートパックデザイン支援」のご利用など、複数のプランをご利用いただくこともできます。

サブスクリプションをすべてのビジネスに

Bplats, Inc. © 2006－2026 Confidential & Proprietary

■本資料の注意点

- 本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。投資に関する決定は、ご自身のご判断において行われるようお願いいたします。
- 本資料に掲載されている業績見通し中期計画、その他今後の予測・戦略等に関わる情報は、現時点で入手可能な情報と合理的であると判断する一定の前提に基づき当社が予測したものです。実際の業績は、様々なリスク要因や不確実な要素により、業績見通しと大きく異なる可能性があります。
- 本資料中の情報によって生じた影響や損害については、当社は一切責任を負いません。
- なお、いかなる目的であれ、本資料を無断で複写複製、または転送等を行わないようにお願いいたします。